

令和8年9月16日14時00分

近畿地方整備局

建設現場の省人化・効率化へ 7つの新技術の効果を実証、実用化へ前進 ～作業時間47%短縮や93%超の判定精度を確認～

近畿地方整備局は、建設現場の生産性向上や省人化につながる7技術の現場試行結果を公表します。今回の試行では、画像解析による流向判定で93%以上の精度を確認したほか、スマートフォンを活用した境界杭探索では作業時間を約47%短縮するなどの効果を確認しました。これらの技術はR6、R7現場ニーズと民間企業の技術シーズをマッチングして実現したものです。

■近畿地方整備局では、建設現場の課題解決や生産性向上に向けて、現場ニーズと民間企業等が保有する技術シーズのマッチングを令和元年度から実施しています。これにより、現場課題の解決に資する技術の開発促進や普及拡大、さらには現場実装につなげる取組を進めています。

令和6年度、令和7年度にマッチング成立した7技術の現場試行結果について、各技術の有効性や適用性等をとりまとめましたので、その結果を公表します。

1. 令和6年度、令和7年度 現場試行技術一覧表

資料1-1、1-2

2. 現場試行結果

資料2-1、2-2

(参考) 近畿地方整備局HP「現場ニーズと技術シーズのマッチング」

<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/i-construction/matching.html>

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局

TEL:06-6942-1141(代表)

企画部 施工企画課

課 長

課長補佐

きくち
菊池
たにぐち
谷口

ひろし
弘
ひさのり
尚典